



★その人という人について楽しいか…？

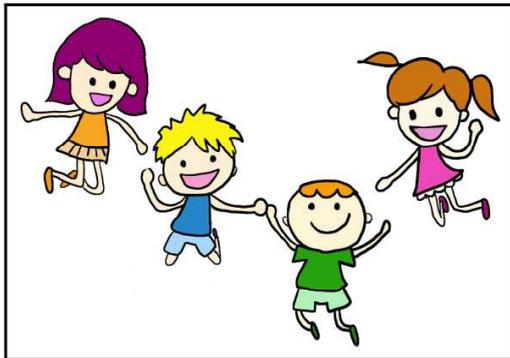
人間関係というのはテクニックではないと思うんです。

大事なことは、その人という人について楽しいか楽しくないかです。

基本的に人と人をつなぐ絆はそれだけ。一緒にいて**楽しければ付き合いは続いていくし**、そうでなければ関係はいつか途切れるものなんです。

無理に人間関係を続けなければならないと思うから、しんどくなるのです。

もう少し、気楽に考えてみませんか…。



★友だちは自分の鏡

どんなに仲の良かった友達でも、月日が経ち、環境も変わり、生き方も変わって

くれば、話は合わなくなってくるのは当然です。その後の人生の歩み方で、考え方や見方といった人間の本質的な部分に大きな差が生まれるからです。

つまり、お互いが同じように**切磋琢磨**し、同じように人格が磨かれていけばいいですが、なかなかそういう訳にはいきません。

これは、友達だけでなく、職場の同僚、家族も同じです。どれだけ自分を**向上**させたか、**進化**したかが問われるのです。つまり、友達は**自分の鏡**のようなものということです。自分が現状維持なら、現状維持の仲間と会うようになるし、自分が進化していれば、進化した仲間と会うようになります。

まさに、孔子の言う「**その人を知らざれば、その友を見よ**」の教え通りです。

もし、久しぶりに旧友と会って、昔の話ではなく、今楽しんでやっている話、新しい話、未来の話で盛り上がったとしたら、それは一生の友です。これは、年を重ねれば重ねるほど、大事になります。いくつになっても、自分を磨き続けることができる人でありたいですね。

★友達とのつきあい方

あなたは友達とのつきあいに、**無理**をしていないだろうか。

無理につきあいを持続させようとしていないだろうか。

たとえば、友達に彼ができたなら、彼女の話すことは彼のことばかり。友達が結婚したら、話題は旦那さんや子どものことばかり。あるいは、友達と別の学校に進んだら、趣味が合わなくなってきた。つまり、話が合わない。

で、会っていて楽しくないことに淋しさを感じるわけですね。

人は誰でも成長していくし、その人をとりまく環境も変わっていきます。それまでは、共通だった話題が少しずつずれていくのはあたりまえ。話が合わなくなつたら、極論をいえば、その人と友達でいなくてもいいわけじゃないですか。

なのに、無理やり話を合わせて、楽しそうなふりをして喋っていてもおもしろくないんじゃないですか。

人間関係というのは、どんなに小細工をしても離れていくものは離れていくし、長続きするものは放っておいても長続きするんです。

おたがい全然違う人生を歩くようになって、価値観も違ってくる人と人は離れていく。

だけど、それでもなお、つきあえる人もいると思うんです。

人間というのは何にせよ生きていくうえで、**無理**はあまりしないほうがいいと思います。壊れるものは壊れていくし、朽(く)ちるものは朽ちていくんです。

人間関係にしたって、小手先でどうこうしたってだめなんですね。

人と上手につきあう方法とかコツなんてものはないんです。

強いていえば、人間としての**魅力**を磨くことくらいでしょう。

最終的にはその人自身の**魅力**が、人間関係を良くもするし、悪くもするものだと思います。

『君はそんなに弱くない』秋元 康 著／大和書房

